

項目	南相馬市	双葉町	浪江町	
	北泉地区	中野地区	請戸地区	両竹地区
①災害の記録や教訓の継承・共有の場としての妥当性、及び原子力災害を含む複合災害の情報発信拠点としての適性	○	◎	○	○
②復興祈念公園(双葉・浪江両町にまたがるエリア)等との連携	○	◎	◎	◎
③他施設等との連携による相乗効果	○	◎	○	○
④用地確保の容易性	◎	○	◎	◎
⑤交通アクセス及び生活インフラ	○	○	○	○
⑥復興拠点施設としての貢献度	△	◎	◎	◎

【参考：評価項目の説明】

項目	視点
①災害の記録や教訓の継承・共有の場としての妥当性、及び原子力災害を含む複合災害の情報発信拠点としての適性	世界初の複合災害と復興の記録や教訓の未来への継承・世界との共有の場として妥当であること、及び、原子力災害を含む複合災害の情報発信拠点として適した場所にあること。
②復興祈念公園(双葉・浪江両町にまたがるエリア)等との連携	復興祈念公園（双葉・浪江両町にまたがるエリア）や震災遺構（候補）との連携が図られること。
③他施設等との連携による集客効果	連携により、アーカイブ拠点施設への集客など相乗効果を促進するような近隣施設等があること。
④用地確保の容易性	復興計画等での位置付けがあり、また、用地の確保が容易で、早期の事業着手が可能であること
⑤交通アクセス及び生活インフラ	（現在、及び近い将来の予定として）交通アクセス、電気、ガス、上下水道が整備され、宿泊施設や商業施設等が近郷にあり、来訪しやすく、滞在しやすい環境があること。
⑥復興拠点施設としての貢献度	立地市町村にとって、復興の加速化へ寄与する施設としての貢献度が高いこと。